

1 分科会 多言語メニュー班の報告

項目	報告内容
生徒からの報告内容	<p>(現状) 「外国人観光客が旅行中最も困ったこと」では、「多言語表示の少なさ」と「コミュニケーションがとれない」を合わせると42.2%であった。</p> <p>(研究テーマ) 「佐野市においてどうすれば外国人観光客の感じる言語の壁をなくせるか？」</p> <p>(仮説) 外国人観光客が日本語を使わざるを得ないレストランメニューを多言語対応させれば佐野市がより外国人観光客にとって心地良い場所になるのではないか？</p> <p>(考察) 英語のレストランメニューを作成してイベント時にお店にメニューを置いていただいた。外国人の利用者にインタビューしたところ肯定的な評価であり、英語のメニューは有用であるとわかった。英語メニューの普及はレストラン側も新たな顧客を獲得でき、双方にメリットがある。</p> <p>(結論) 適切な支援策を講じて多文化対応メニューをレストランに導入すれば言語の壁をなくせる。</p>
意見交換の内容 (生徒の意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューのデジタル化が必要でQRコードから注文ができたりするとよいのではないか。 ・SNSを使って積極的に佐野市の魅力を発信することが大切であり、イベント等を利用しもっと多くの店の方々にトライしていただきたい。 ・佐野市や議員の方々もさらに発信して欲しい。 ・自分たちが佐野市の魅力を知らなくては観光客を呼び込むことは不可能であるので、自分たちももっと佐野市の魅力を研究し広めていきたい。

感想、所見、課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野高校の生徒さんたちの真摯なプレゼンテーションや意見発表に感動いたしました。 ・日常の熱心な研究の成果がうかがわれる有意義な分科会となりました。特に、彼らは、飲食店関係の市民の皆様や関係者との交流を通じて「シビックプライド（都市に対する市民の誇り）」の観点からの市の発展に興味を抱き、今後の将来性が垣間見えました。 ・彼らのアイデアが実現可能かどうか、我々議員も今回のテーマの内容を精査・検討していきたいと思えます。
-----------	--

2 参加議員 川嶋嘉一、春山敏明、井川克彦